



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社船井総研ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9757 URL <https://hd.funaisoken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 貴之
グループCEO
取締役執行役員
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートビジネス (氏名) 春田 基樹 (TEL) 06-6232-0130
本部本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	22,253	7.9	5,945	20.1	5,968	19.0	4,043	17.2
2023年12月期第3四半期	20,630	10.6	4,951	△7.1	5,017	△6.8	3,449	△6.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 4,136百万円(17.1%) 2023年12月期第3四半期 3,532百万円(△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	86.06	85.11
2023年12月期第3四半期	70.16	69.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	29,601	22,995	75.4
2023年12月期	31,631	25,726	79.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 22,310百万円 2023年12月期 25,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	32.00	—	33.00	65.00
2024年12月期	—	37.00	—		
2024年12月期(予想)				38.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	8.0	7,900	9.0	7,900	7.6	5,500	5.7	115.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	50,000,000株	2023年12月期	52,000,000株
2024年12月期3Q	3,639,714株	2023年12月期	4,186,224株
2024年12月期3Q	46,976,592株	2023年12月期3Q	49,168,775株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
(1) 受注及び販売の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における経済環境は、米国の景気拡大ペース鈍化への懸念や長期化しているウクライナ情勢、中東情勢の悪化等、依然として不透明な状況が続いております。一方、国内は、日本銀行によるマイナス金利政策解除という金融政策の転換により、金融市場の正常化に向けた動きが見られました。大企業において、インバウンド需要が堅調な宿泊・飲食サービス業等を中心に景況感は改善していますが、中小企業においては、原材料価格の上昇、従業員の確保が困難であるなどの人手不足は継続しており、引続き厳しい状況にあります。

そのような中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高22,253百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益5,945百万円（同20.1%増）、経常利益5,968百万円（同19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,043百万円（同17.2%増）となりました。

①売上高・・・22,253百万円（前年同四半期比7.9%増）

売上高におきましては、経営コンサルティング事業において、主力であります月次支援、プロジェクトのコンサルティングおよび経営セミナーが増収となりました。また、ロジスティクス事業における物流企業向けコンサルティング、デジタルソリューション事業におけるWEB広告運用代行及びHRソリューションも堅調に推移し、増収となりました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べて7.9%増の22,253百万円となりました。

②営業利益・・・5,945百万円（前年同四半期比20.1%増）

営業利益におきましては、売上原価は13,705百万円（前年同四半期は13,020百万円）、販売費及び一般管理費は2,603百万円（同2,658百万円）となりました。人材採用費などの適正なコントロールにより特に販売費及び一般管理費のコストを削減することができました。

その結果、営業利益は前年同四半期に比べて20.1%増の5,945百万円となりました。

③経常利益・・・5,968百万円（前年同四半期比19.0%増）

経常利益におきましては、営業外収益は63百万円（前年同四半期は78百万円）、営業外費用は39百万円（同13百万円）となりました。

その結果、経常利益は前年同四半期に比べて19.0%増の5,968百万円となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益・・・4,043百万円（前年同四半期比17.2%増）

親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税等合計が1,800百万円（前年同四半期は1,541百万円）となり、前年同四半期に比べて17.2%増の4,043百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、4月より東京本社を「東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー」に移転した効果もあり、経営者の来客数も増加し、セミナー及び経営研究会会員からの受注が大きく増加しており、前年同四半期と比較して増収となりました。業種別で見ますと、医療・介護・福祉業界向けコンサルティング部門が、好調に売上高を伸ばすことができました。加えて、製造業向けコンサルティングの売上高も大きく伸ばすことができました。利益面におきましては、対面での活動において発生する旅費交通費や、販促活動におけるWEB販促費用などのコストコントロールを行い増益となりました。

その結果、売上高は16,119百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は5,332百万円（同13.7%増）となりました。

②ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきましては、物流企業向けコンサルティングにおける月次支援が引続き堅調に推移しました。荷主企業向けの経営研究会の立ち上げもあり、増収となりました。物流BPO業務は、既存顧客大手との取引が拡大したことにより、増収となりました。

その結果、売上高は3,084百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は332百万円（同28.6%増）となりました。

③デジタルソリューション事業

デジタルソリューション事業におきましては、HRソリューションは、顧客予算額に対する納品率の向上により堅調に推移しております。デジタルソリューションは、WEB広告運用代行サービスが引続き業績を伸ばしたものの、クラウドソリューションにおけるシステム開発案件の減少により、減収となりました。利益面では、WEB広告運用代行サービスにおいて、大型の未収債権に対する貸倒引当金を計上したことによる影響を大きく受けた結果となっております。

その結果、売上高は3,049百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は73百万円（前年同四半期は営業損失126百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,029百万円減少し、29,601百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,748百万円減少し、14,909百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,718百万円増加し、14,691百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の減少、投資その他の資産のその他に含まれる定期預金の増加によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて701百万円増加し、6,606百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて700百万円増加し、6,367百万円となりました。これは主に賞与引当金の増加、未払金及びその他に含まれる預り金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0百万円増加し、239百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加及び退職給付に係る負債の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,731百万円減少し、22,995百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加、剰余金処分及び自己株式の消却による利益剰余金の減少、自己株式の取得及び消却による自己株式の減少によるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて3.8ポイント減少し、75.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期においては「中期経営計画（2023年度～2025年度）」の2年目として、当社グループのパーパスである「サステナブルグロースカンパニーをもっと。」の実現にむけて、パーパス浸透を推進してまいります。また、当社グループの中核事業である経営コンサルティング事業を中心に、企業の経営課題を一気通貫でサービス提供できる体制にビジネスを拡張してまいります。さらに、グループビジョンである“中堅・中小企業を中心とした「デジタル」×「総合」経営コンサルティング”を推進し、グループ内のアライアンス力を高めながら、顧客企業の経営者ニーズをとらえ、時流に即した経営コンサルティングサービスを提供してまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高30,500百万円、営業利益7,900百万円、経常利益7,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5,500百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,894,272	9,138,700
受取手形、売掛金及び契約資産	4,129,004	4,216,920
有価証券	300,984	300,000
仕掛品	150,485	229,995
原材料及び貯蔵品	6,491	6,653
その他	1,229,965	1,239,049
貸倒引当金	△53,224	△221,626
流動資産合計	18,657,980	14,909,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	998,696	1,667,095
土地	4,596,717	4,558,702
その他（純額）	550,587	342,200
有形固定資産合計	6,146,000	6,567,999
無形固定資産		
ソフトウェア	308,460	396,409
のれん	355,138	288,549
その他	461,254	24,297
無形固定資産合計	1,124,853	709,256
投資その他の資産		
投資有価証券	3,220,850	3,098,388
退職給付に係る資産	445,246	496,653
その他	2,042,358	3,833,063
貸倒引当金	△6,138	△13,582
投資その他の資産合計	5,702,316	7,414,523
固定資産合計	12,973,170	14,691,778
資産合計	31,631,150	29,601,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	536,548	537,739
短期借入金	200,000	200,000
未払金	2,005,791	1,693,849
未払法人税等	1,167,733	1,055,598
賞与引当金	-	1,523,348
その他	1,756,359	1,356,735
流動負債合計	5,666,433	6,367,272
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	67,893	43,145
繰延税金負債	5,902	58,805
その他	64,447	37,181
固定負債合計	238,242	239,133
負債合計	5,904,676	6,606,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,946,634
利益剰余金	26,579,111	23,459,169
自己株式	△7,558,359	△7,276,156
株主資本合計	25,092,618	22,254,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,312	158,064
為替換算調整勘定	27,771	27,664
退職給付に係る調整累計額	△155,813	△129,925
その他の包括利益累計額合計	△37,729	55,804
新株予約権	671,585	684,383
純資産合計	25,726,474	22,995,067
負債純資産合計	31,631,150	29,601,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	20,630,373	22,253,766
売上原価	13,020,043	13,705,084
売上総利益	7,610,329	8,548,682
販売費及び一般管理費	2,658,355	2,603,609
営業利益	4,951,974	5,945,072
営業外収益		
受取利息	5,109	7,302
受取配当金	4,748	5,267
投資有価証券売却益	20,344	4,890
投資有価証券評価益	76	2,796
保険解約返戻金	20,971	18,284
その他	27,262	25,136
営業外収益合計	78,513	63,677
営業外費用		
支払利息	5,422	3,652
投資有価証券評価損	1,736	2,209
投資事業組合管理費	1,078	24,484
寄付金	2,050	7,050
その他	2,851	2,580
営業外費用合計	13,138	39,976
経常利益	5,017,349	5,968,772
特別利益		
固定資産売却益	8	194,887
特別利益合計	8	194,887
特別損失		
固定資産売却損	-	945
減損損失	23,755	39,744
固定資産除却損	2,339	7,370
事務所移転費用	-	272,338
特別損失合計	26,095	320,399
税金等調整前四半期純利益	4,991,262	5,843,260
法人税、住民税及び事業税	1,856,105	2,138,799
法人税等調整額	△314,457	△338,564
法人税等合計	1,541,648	1,800,235
四半期純利益	3,449,613	4,043,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,449,613	4,043,024

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	3,449,613	4,043,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,957	67,752
為替換算調整勘定	1,853	△106
退職給付に係る調整額	26,424	25,887
その他の包括利益合計	83,234	93,533
四半期包括利益	3,532,848	4,136,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,532,848	4,136,558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月23日開催及び2024年2月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,501,700株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3,639,718千円増加しております。また、当社は、2024年2月8日開催の取締役会決議に基づき、2024年2月29日付けで、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,828,300千円減少しております。主にこれらの影響により、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が23,459,169千円、自己株式が7,276,156千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
売上高						
月次支援 コンサルティング プロジェクト コンサルティング	10,290,093	—	—	10,290,093	—	10,290,093
経営研究会会費	1,866,072	—	—	1,866,072	—	1,866,072
物流コンサルティング	1,634,237	—	—	1,634,237	—	1,634,237
物流BPO	—	600,425	—	600,425	—	600,425
ITコンサルティング	—	2,259,049	—	2,259,049	—	2,259,049
S P X	—	—	93,491	93,491	—	93,491
クラウドソリューション	—	—	1,314,332	1,314,332	—	1,314,332
HRソリューション	—	—	852,296	852,296	—	852,296
その他	—	—	803,180	803,180	—	803,180
その他	879,075	—	25,924	905,000	—	905,000
顧客との契約から 生じる収益	14,669,479	2,859,474	3,089,225	20,618,180	—	20,618,180
その他の収益(注)3	—	—	—	—	12,193	12,193
外部顧客への売上高	14,669,479	2,859,474	3,089,225	20,618,180	12,193	20,630,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,002,073	427,859	927,963	2,357,896	△2,357,896	—
計	15,671,552	3,287,334	4,017,189	22,976,076	△2,345,703	20,630,373
セグメント利益又は 損失(△)	4,689,554	258,676	△126,272	4,821,958	130,015	4,951,974

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去3,568,536千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益5,940,842千円並びに全社費用2,242,290千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	デジタルソリューション事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
月次支援コンサルティング	11,030,031	—	—	11,030,031	—	11,030,031
プロジェクトコンサルティング	2,181,391	—	—	2,181,391	—	2,181,391
経営研究会会費	1,875,964	—	—	1,875,964	—	1,875,964
物流コンサルティング	—	661,851	—	661,851	—	661,851
物流BPO	—	2,422,319	—	2,422,319	—	2,422,319
ITコンサルティング	—	—	109,817	109,817	—	109,817
SPX	—	—	1,516,823	1,516,823	—	1,516,823
クラウドソリューション	—	—	578,251	578,251	—	578,251
HRソリューション	—	—	842,121	842,121	—	842,121
その他	1,031,942	—	2,805	1,034,748	—	1,034,748
顧客との契約から生じる収益	16,119,329	3,084,171	3,049,818	22,253,319	—	22,253,319
その他の収益(注)3	—	—	—	—	446	446
外部顧客への売上高	16,119,329	3,084,171	3,049,818	22,253,319	446	22,253,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	413,932	422,761	427,116	1,263,809	△1,263,809	—
計	16,533,262	3,506,932	3,476,934	23,517,129	△1,263,362	22,253,766
セグメント利益	5,332,688	332,655	73,632	5,738,977	206,095	5,945,072

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,821,644千円及び各報告セグメントに配分していない全社収益6,442,286千円並びに全社費用2,414,546千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主にグループ運営に係る費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
減価償却費	219,937千円	276,310千円
のれんの償却額	78,309千円	66,588千円

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	14,066,990	+12.6	8,189,675	+7.7
ロジスティクス事業	597,114	+5.6	299,412	△14.1
デジタルソリューション事業	838,953	△16.0	240,405	+16.0

- (注) 1 経営コンサルティング事業については、月次支援及びプロジェクトの経営コンサルティング収入についてのみ記載しております。
 2 ロジスティクス事業については、物流コンサルティング収入についてのみ記載しております。
 3 デジタルソリューション事業については、ITコンサルティング収入及びクラウドソリューション収入についてのみ記載しております。
 4 金額は販売価格で表示しております。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	16,119,329	+9.9
ロジスティクス事業	3,084,171	+7.9
デジタルソリューション事業	3,049,818	△1.3
合計	22,253,319	+7.9

- (注) 1 販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
 2 総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。